

2008 年 新年聖会メッセージ

石黒イサク

『まず神の国と神の義とを求めよ。』マタイ傳福音書 6 章 33 節

聖書が示す『神の国』プログラムとは？

Kingdom is not “realm” or “people” only, 「国」と訳されているが、領土や国民ではなく、ギリシャ語の “Basileia” “Reign” or “dignity” “Royal power”。

「バシレイア」は、“Basileus” “King or Ruler” 「国王、統治者」から派生したことで、「支配、指揮権、統治」を表す。Sovereign Rule of God ゆえに「神の国」は、絶対的な「神の支配」、「神の統治」と理解すべきもの。

神の国 (Kingdom of God) と、天国(てんこく) (Kingdom of Heaven) は全く同じもの。

マタイ福音書のみは「天国」と表記し、他の福音書では「神の国」と表記されている。

ルカ福音書 17:20～21 「視よ、神の国は汝らの中にあるなり」 靈的王国

マルコ福音書 9:1 「神の国の、権能をもて来るを見る」 普遍的、絶対的支配者なる主

「神の国」のどの部分、何を指しているのかを理解して、分類しなければ混乱するのみ。

日本語訳聖書を比較してみると、訳者たちはこの事を理解していないことが歴然。

天国の理解が無いために、信者の死後の行き先である「天」と混同している。

これは聖書翻訳の重大な問題である。

	Kingdom of Heaven	Kingdom of God
文語訳	天国(てんこく)	神の国
口語訳	天国(てんごく)	神の国
新改訳	天の御国	神の国
新共同訳	天の国	神の国

*以下の王国の色分けは、

青色で過去のものを、紫色で現在進行中のものを、赤色で将来のものを表記する。

永遠・永続する王国 Eternal aspect

普遍性、被造世界・被造物すべてを統治する神の支配・神の御意以外は、何事も起こらない。

(1) 直接的・積極的な神の指揮・指導による事象

(2) 神が容認・許容する事象 ヨブ記 1～2 章

期間限定(有限)王国 Temporal aspect

普遍・無限の神の支配が、人類史上に現されること

神の直接、間接的な統治が、人間社会に現され、特にイスラエル民族・国に対してなされた。

物理的(可視)王国 Physical Kingdom

必然的に有限・期間限定の支配となる。

イスラエルを統治される神 神政政治時代(過去)とメシア王国・千年王国時代(将来)。

世界規模で現れる 奥義王国 「クリスンダム(Christendom)」(現在進行中)

「奥義」とは、旧約時代には秘められていたが、新約時代に啓示された真理。

新約聖書中には、神の奥義が8件、悪魔の奥義が2件、記されている。

霊的(不可視)王国 Spiritual Kingdom

① 普遍的(無限)王国 Universal Kingdom 位置を強調 場所、広さ、対象
可視・不可視王国 (現在進行中)

全宇宙、天使たち、悪魔と悪霊もすべてが支配下にある。

神は全知全能者、至高者と呼ばれ、すべてを掌握しておられる。

永遠(永続)王国 Eternal Kingdom 時間を強調

神の支配は神の存続と同じ期間続くので、それは永遠・永続する。

歴代上 29:11～12

詩篇 10:16

詩篇 29:10

詩篇 74:12

詩篇 90:1～6

詩篇 93:1～5

詩篇 103:19～22

詩篇 145:1～21

詩篇 148:1～14

エレミヤ記 10:10

哀歌 5:19

ダニエル書 4:17, 25, 32

ダニエル書 6:26

② 霊的王国(Spiritual Kingdom) アダムから人類史の終わりまで、信者の心を支配
不可視王国 (現在進行中)

教会(恵み)時代(ペンテコステから携挙まで)は、霊的王国とは「教会=キリストの身体」である。

マタイ福音書 6:33

マタイ福音書 19:12, 23～24

ヨハネ福音書 3:3～5

使徒行伝 8:12

使徒行伝 20:25

コロサイ書 1:13～14

コロサイ書 4:11

テサロニケ前書 2:11～12

最初の人アダムより、千年王国末期の最後の人まで、人類史の全期間で、神の救いを受けたすべての人は、イエス様がルカ福音書 17:20～21 「視よ、神の国は汝らの中にあるなり」とお語りになった神の国を心に持っている。

福音宣教により、「神の国を拡大する」と表現されることは、まさに罪人たちの個人的な救いによって、神の支配が一人一人の内面におよぶことであり、十字軍などの武力により、あるいは政治的権力によって改宗や教化して、世界地図をキリスト教国に塗り替えることではない。

③ 神政政治王国(Theocratic Kingdom) 神がイスラエルを支配 (Theocracy) 可視王国 (過去)

出エジプト記 19:1～歴代志略下 36:21

(1) 仲介者を用いて統治 モーセからサムエルまで (Mediatorial stages)

シナイ山の契約から始まり、モーセ、ヨシュア、士師たち、サムエルに至る
サムエルは時代の変換・移行期 最後の士師、ダビデに膏を注いだ祭司である。
サムエル前書 8 章 参照

(2) 国王を用いて統治 サウルからセデキヤまで (Monarchy stages)

ユダ王国の最終王はゼデキヤであるが、世代としてはエコニヤが王家直系最終の王であった。

エレミヤ記 22:24, 30 参照

④ メシア的王国(Messianic Kingdom) イスラエル・ユダヤ的呼称 統治者メシアを強調

千年王国(The Millennium) キリスト教會的呼称 王国の存続期間を強調
可視王国 (将来)

神政政治期間に、イスラエルの靈的荒廃に対して、神が遣わされた預言者たちが予告したメシアによる統治の実現。

- バプテスマのヨハネの伝えた「御国」は、メシア的王国であった。
マタイ福音書 3:2 など
- 主イエス・キリスト様の伝えた「御国」は、メシア的王国であった。
マタイ福音書 4:17 など

二人とも「御国」「王国」について何の説明もせずにイスラエルに伝えたわけは、当時の聴衆は旧約時代から予告されていた「メシア王国」として理解していたため。

しかし、イスラエルの公式的「メシア拒絶」(マタイ福音書 12 章)により、延期されたため、将来イスラエルが悔い改めて、メシアを受け入れた時に、再臨のメシアが地上を 1000 年間支配する王国が到来する。

⑤ 奥義なる王国(Mystery Kingdom) 可視王国 (現在進行中)

「クリスンダム」(Christendom) メシアの初臨から再臨までの期間 (マタイ福音書

12:38～24:31)

正確には、イスラエル民族の公式な「メシア拒絶」により、出現したもので、将来イスラエルの公式な「悔い改めとメシア信仰告白」に至るまでの期間存在する王国。

一般的には「クリスンダム」は、「キリスト教世界」もしくは、「キリスト教社会」と訳すが、それ以上の広い存在。キリストを信じると告白する者たち、すべてを含む王国であるため、カトリック教会(西方教会)、オーソドックス(東方正教会)、プロテスタントの正統的なキリスト教会も、異端・カルトさえも含まれている。教会時代以前(マタイ福音書12章)から、教会の携挙後の患難期末期・再臨直前(マタイ福音書24章)までとなる。

イスラエルのメシア拒絶により、主イエス様は、マタイ福音書12章以降「奥義の王国」の説明を開始された。マタイ福音書13章(マルコ福音書4章、ルカ福音書8章)「種まきのたとえ」と「天国(神の国)」

第一の喩えは他の喩えの基本形 「種まき」 4種類の土地、4種類の反応。

「種」 福音・みことばの種 内に生命を秘めた、自然に成長する能力を持つ。

ロマ書 1:16 「福音は、すべて信ずる者に救いを得させる神の能力」

テモテ後書 3:15 「この書は、イエスを信ずる信仰によりて、救いに至らしむる知恵を与え」

(1) 麦と毒麦 「福音、みことば」の蒔かれるところに、偽物・悪の種も蒔かれる。

「毒麦、偽りの教え」を蒔く者は悪魔。

「収穫」は世の終わりの審判 良い麦は「父の御国」に入る。

マタイ福音書 25:31～46 千年王国直前の「羊と山羊の審判」

(2) 芥子種 「樹となり」 普通以上に成長して、
「空の鳥」 種まきの喩えと同様に、悪魔が樹に宿るほどになる。

(3) パン種 「女」 旧約時代から、宗教・信仰を現すシンボル
肯定的表現 イスラエルは「エホバ(ヤハウェ)の妻」、教会は「キリストの花嫁」
否定的表現 偽宗教「イゼベル」、「大淫婦」

「パン種」 旧約時代から、罪・悪を現すシンボル
マタイ福音書 16:11～12 「パリサイ人のパン種」
「3斗(サトン)」 カトリック、東方正教会、プロテスタント

(4) 隠れた宝 イスラエルの信者 「イスラエルの残りの者=レムナント」
イスラエル「畑(土)」より産出

(5) 良い真珠 異邦人信者 「海」(異邦社会)から産出
宝と真珠がともに教会を形成する エペソ書 2:11～18

(6) 網 異邦人社会 「海」に網打ちをして漁をする。
毒麦の喩えと同様に、「世の終わりの審判」 義人と悪人を分離する
マタイ福音書 25:31～46 千年王国直前の「羊と山羊の審判」

奥義の王国はまとめると、以下のポイントが明確になる。宣教に困難さや、異端などの偽

物問題も、イエス様がお語りになったこれらの事柄を理解すれば、納得ができる。

* 奥義王国期間中「福音の種」は蒔き続けられる。同時に「偽の悪の種」も蒔き続けられる。

* 奥義王国は世界大に拡大し、悪魔が宿るものとなる。

* 悪・罪が蔓延してはびこるが「世の終わりの審判」によって、義者と不義者が分けられる。

* この王国内に、ユダヤ人からも異邦人からも「真の信者=教会」が産出される。

マタイ福音書 13:52 「理解しているか？」 とイエス様は聴衆に確認された。
私たちは古い教えと新しい教えを良く知る必要性を教えられる。聖書をよく学び、正しく分析して、生活に用いていきたい。